

一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定により通告します。

2017年5月16日
東村山市議会議長様

議席番号 13 番
質問者 大塚恵美子

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p>東村山市の教育のあり方と課題について</p> <p>2015年4月に施行された改正地方教育行政法により設置された総合教育会議が発足し「教育施策の大綱」が策定された。</p> <p>2030年頃までの学校教育の基準を定めた改訂学習指導要領と道徳の特別教科化など、教育の転換点ともいえる時期を迎えている。</p> <p>東村山市の教育のあり方、課題について問う。</p> <ol style="list-style-type: none">1 教育委員会の教育目標並びに第4次総合計画前期基本計画を踏まえ、大綱が策定され、必要な改定について総合教育会議で適宜検討を行う、とある。東村山市の特性を生かし施策の体系化がされたとのことだが、特性とはどのようなものか。2 大綱には「教員の資質・能力を高める」とあるが、多くの公立学校の先生は格差の現実に向きあい、子どもたちの学びのための環境整備や基礎学力をつけることに努力されている。文部科学省は「カリキュラム・マネジメント」として教育課程の工夫を学校に求めている。先生の加配はされず、時間の確保が困難な中、どのように課題を解決していくのか。3 大綱にある「いじめ防止等に関する取組の推進」も具体性はなく、イメージがわからない。いじめ防止対策推進法・施行後3年の課題として、3分の1以上の自治体が「防止基本方針」を策定せず、積極的な予算と人員の投入がされていないことが指摘されている。文科省有識者提言では、いじめ対応を「最優先業務」と位置づけている。どのように認識し、推進していくのか。

- 4 「シチズンシップ教育」は、どのように推進していくのか。憲法や立憲主義、民主主義に大きくかかわる主権者の学びをどのように進めていくのか。
- 5 3月31日改訂の学習指導要領は、幼稚園、小学校、中学校、高校において、全面実施の年度が異なる。29年度は幼稚園、小学校、中学校においては周知・徹底の期間とされているが、具体的にどのように進めるのか。
- 6 東村山市の教育大綱と非常に細かい部分まで書き込まれた「大綱的基準」とは異なる改訂学習指導要領は、整合性をもって進めることができるのか、現場の自主性は尊重されるのか、創意工夫が引き出せなければ公教育への信頼はゆらぐ。見解を伺う。
- 7 2015年3月に改訂済みの道徳は「特別の教科」となった。発言や感想文など記述式で評価し、点数化や入試には用いない、とされる。正否の判断基準はないことから、論理的でない押し付けになりはしないだろうか。教育現場での課題は何か。
- 8 教育現場で大きな違和感をもつ言葉が「自己有用感」だ。国立教育政策研究所が出された指導リーフレットに掲載され、今年2月に発表された東村山公立小学校長会研究紀要にも使われている表現だ。自尊感情や自己肯定感とは一線を画す。「人の役にたった」「人から感謝された」「人から認められた」と、人とのかわりから生じる言葉だ。役に立たなければいけないのだろうか。見解を伺う。
- 9 総合教育会議の座長である市長に、東村山市の教育のあり方について、総合的な観点における見解を伺う。

2 学校図書館の整備充実について

2016年11月、文部科学省より「学校図書館の整備充実について」の通知があり、「学校図書館ガイドライン」「学校司書のモデルカリキュラム」「これからの学校図書館の整備充実について（報告）」などの資料が公表された。

今までも図書標準を満たしているか、司書教諭への配慮が必要、などの記述はあったが、今回はじめて、学校司書についての記述が増え、継続的な勤務による知識や経験の蓄積や、研修の必要性などを教育委員会に示唆しているところが、

新しいところだ。

また学校図書館に求められることとして、「読書センター」「学習センター」とここにきて最も重要視されているのが「情報センター」としての機能であると、うたわれている。生徒自身の興味・関心などによって主体的に学び取っていく「アクティブラーニング」を効果的に進める基盤として期待される。

このような課題を推進していくためには、学校長がリーダーとなり、校内に学校図書館に関する組織を設け、円滑な運営を計ることが有効である。

学校は学習指導要領を踏まえ、各教科において学校図書館を計画的に活用し、児童生徒の主体的・意欲的な学習活動や読書活動を充実するよう努める、とされる。

- 1 学校司書の研修については市立図書館が責任を持って計画し、非常に有効な外部の専門家による講演会が行われている。学校内における学校図書館の運営はどのように行われているのか。
この通知のように学校長が関わっているのか、図書館運営会議などが行われているのか、実際の進捗を伺う。
- 2 最も注目されている「情報センター」としての機能を果たすだけの資料が学校図書館に整備されているのか。
 - ①各学校に百科事典は何セットあるのか？
 - ②蔵書検索できるパソコンは学校図書館にあるのか？
 - ③市立図書館や市内の各学校とオンラインで検索できるようなシステムは計画されているのか？
- 3 学校の各担任、保健体育、養護教諭や図書館、助産師との連携による学校図書館活動事例がある。第四中学校における「性を生きる学習」授業が2015年に行われている。それぞれの学校に専任の学校司書がいることが、有効な「情報センター」としての機能を果たすことになる。2校兼任の司書では、「アクティブラーニング」は追いつかない状況にある。今後の司書配置の必要性について、構想を伺う。